

以下は過去の掲載した俳句です。

December (2020) 忘年句会<br>

- ・斜に構ふ飾売の灯ゆらゆらと<br>
- ・遠き日の年末賞与あわ硝子<br>
- ・盛り上がる浮世話や年忘れ<br><br>

November (2020) 観菊句会<br>

- ・鎌一丁立つ傍らの野菊かな<br>
- ・店頭の前へ今日から菊の花<br>
- ・岩棚の根づく磯菊浪近し<br>
- 鎌      :    くわ<br>
- 傍ら   :    かたわら<br><br>

October (2020) コスモス句会<br>

- ・触れてゆく少女の肩や秋桜<br>
- ・客船を見送る丘の秋桜<br>
- ・街角の透くる光や秋桜<br>
- 秋桜   :    コスモス<br><br>

September (2020) 観月句会<br>

- ・松島を船立つ月の出潮かな<br>
- ・満月や小舟を舫ふ人の影<br>
- ・禿山のぼんぼこ狸月今宵<br>
- 船立つ :    ふなたつ<br>
- 舫ふ   :    もやう<br>
- 禿山   :    はげやま<br><br>

August (2020)<br>

- ・夜明には巻き戻してや花木槿<br>
- ・朝顔や生きるにほひの露地に活き<br>
- ・ありし日の日射しひたすら鳳仙花<br>
- 木槿   :    むくげ<br><br>

July (2020)<br>

- ・漂蕩の筋金入りし海月かな<br>
- ・梅雨晴れ間テニスコートに茶話の花<br>
- ・夕去れや塀へ返す雨燕<br>
- 漂蕩   :    ひょうとう<br>
- 海月   :    くらげ<br>
- 塀      :    ねぐら<br><br>

Jun (2020)<br>

- ・紫陽花の白い吐息や夜半の雨<br>
- ・神鳴の来ると騒めく風見鶏<br>
- ・モノクロの花いちもんめ昼寝覚<br><br>

May (2020)<br>

- ・蝙蝠や外出自粛の朝寝坊<br>
- ・新緑や人恋しさの胸に浸む<br>
- ・相伝を守れし代田過疎の村<br>
- 蝙蝠   :    こうもり<br><br>

April (2019)

- ・全山の湧き立つ桜ゆくりなし
- ・仄白く闇に漲る桜かな
- ・吉高に大桜あり孤の一途

March (2019) <br>

- ・ 雛包み解く手時折止めにはけり<br>
- ・ 立ち止まる白杖の音木の芽風<br>
- ・ 初島を返す白船遠霞<br><br>

February (2020) <br>

- ・ 彼の住める山の向かふや春霞<br>
- ・ のら猫や声音を映す春障子<br>
- ・ 節分に追はれし鬼や巷の灯<br><br>

January (2020)

- ・ 福引きの赤玉に兎のはしゃぎ居り
- ・ 正月や老いの坂にも初づくし
- ・ 初夢の続き見たさの二度寝かな

December (2019)

- ・ 名前のみ歳をとらざり古暦
- ・ それぞれに悲喜こもごもの師走かな
- ・ 電飾を纏ふ夜ごとの冬木立

November (2019)

- ・ 指貫や母の居るよな菊日和
- ・ 小休みを野菊と居並む農婦かな
- ・ 指先へ触れし余韻や残り菊

October (2019)

- ・ 土地神の笑みそちこちに秋桜
- ・ コスモスを眺むる夜の土竜かな
- ・ 見得を切る茅葺き屋根の秋桜